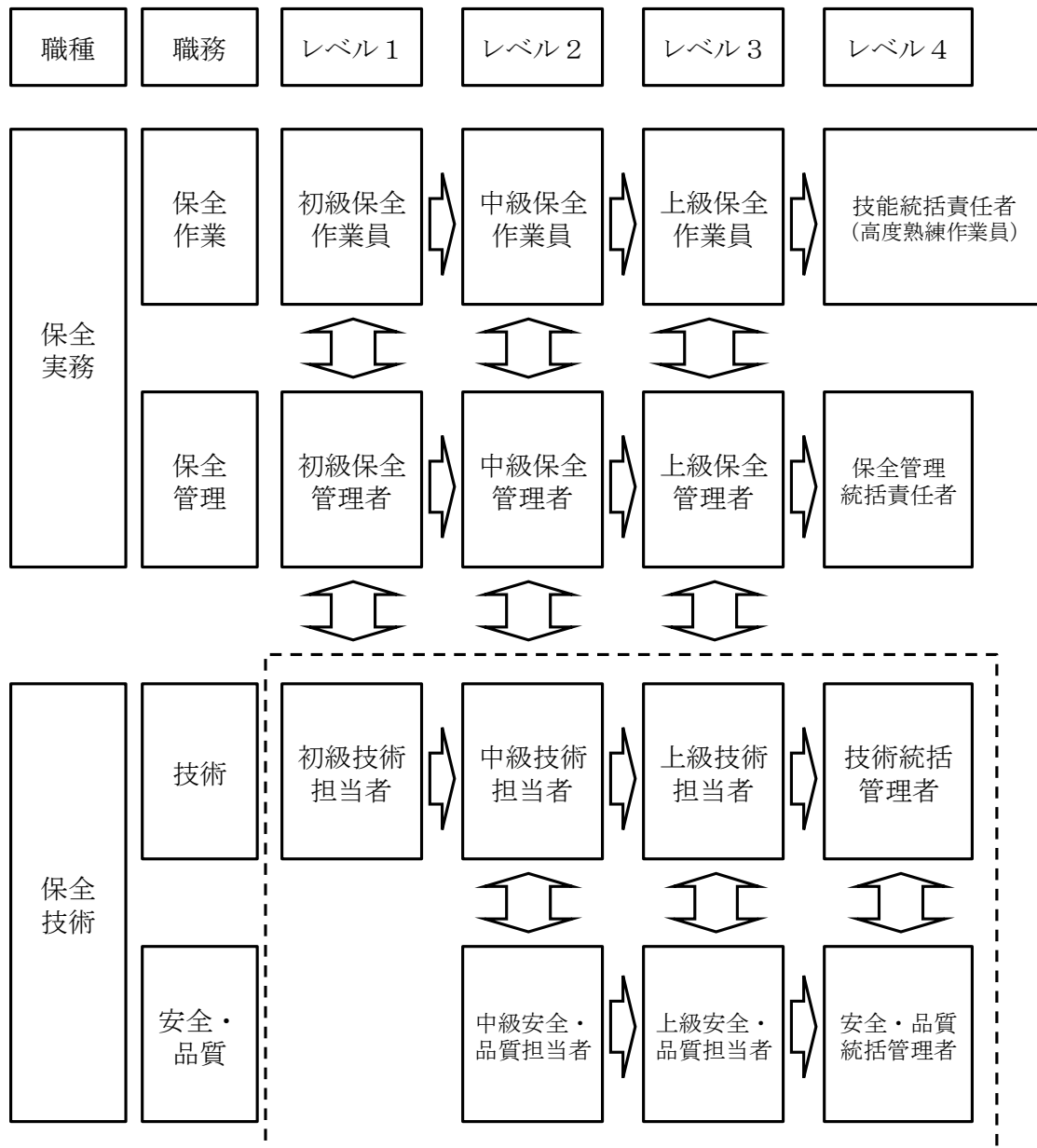


## 職業能力評価基準（プラントメンテナンス業）におけるレベル区分の考え方

レベル 区分	保全実務		保全技術
	保全作業	保安全管理	技術・安全・品質
レベル 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>各作業班の業務を把握し、全体の最適化を図り、業務を指示し指導するために必要な能力水準</li> <li>顧客の要望事項を把握し、作業現場の問題解決を図るために必要な能力水準</li> <li>プラントメンテナンス業において卓越した知識・技能を駆使し、後継者育成に手本を発揮する能力水準</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場を統括し、計画的に職務を遂行させるために必要な能力水準</li> <li>利益を向上（コストダウン）させるために責任者としての業務を遂行するために必要な能力水準</li> <li>顧客の要望事項を把握し応えるために、部門調整、作業チーム調整、協働会社調整などを行うために必要な能力水準</li> <li>顧客、他業種などと調整、問題解決をするために必要な能力水準</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部門や職場を統括し、計画的に職務を遂行させるために必要な能力水準</li> <li>経営的な判断及び意思決定に部門代表として参画するために必要な能力水準</li> <li>業績（利益を含む）を上げるための全社的な業務を遂行するために必要な能力水準</li> </ul>
レベル 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた持ち場で適正な作業品質を保持し、決められた期間内に業務を遂行するために必要な能力水準</li> <li>アクシデントへの対処や再発防止への改善など適切な判断に基づき業務を遂行するために必要な能力水準</li> <li>高度な技能を発揮し、顧客の高い信頼を得ている業務を遂行するために必要な能力水準</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた持ち場で管理運営業務を遂行するために必要な能力水準</li> <li>部下や作業員をまとめ、業務を指示し指導するために必要な能力水準</li> <li>顧客と調整したり、問題解決をするために必要な能力水準</li> <li>作業条件や内容を把握し、適正なメンテナンス業務を遂行するために必要な能力水準</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた持ち場で管理運営業務を遂行するために必要な能力水準</li> <li>高度な専門的知識をもとに部下の指導・育成に必要な能力</li> <li>部下をまとめ、業務を指示し指導するために必要な能力水準</li> <li>顧客、他社などと調整、問題解決をするために必要な能力水準</li> <li>顧客の要望事項を把握し応えるために、部門内調整を行うために必要な能力水準</li> </ul>
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>職務に関する専門分野の向上や拡大を行うために必要な能力水準</li> <li>作業指揮者（統括責任者）に求められた時に、適切な提案を行うために必要な能力水準</li> <li>技能・経験に基づく、より高度な業務を遂行するために必要な能力水準</li> <li>現場の条件や内容を把握し、適正な作業を遂行するために必要な能力水準</li> <li>作業チームの一員もしくはリーダーとして任せられた仕事を責任を持って遂行するために必要な能力水準</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職務に関する専門分野の向上や拡大を行うために必要な能力水準</li> <li>顧客や上司に求められた時に、適切な提案を行うために必要な能力水準</li> <li>上司を補佐し、任せられて作業チームへの指示・指導業務を遂行するために必要な能力水準</li> <li>第一線で率先垂範し、現場作業の指揮監督を行う業務を遂行するために必要な能力水準</li> <li>後輩や作業員に業務を指示し指導するために必要な能力水準</li> <li>アクシデントへの対処や再発防止への改善など適切な判断に基づき業務を遂行するために必要な能力水準</li> <li>創意工夫をこらして、仕事の流れを理解して、組み立てられる（段取りができる）能力水準</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職務に関する専門分野の向上や拡大を行うために必要な能力水準</li> <li>顧客や上司に求められた時に、適切な提案を行うために必要な能力水準</li> <li>上司を補佐し、任せられて若手への指示・指導業務を遂行するために必要な能力水準</li> <li>作業条件や内容を把握し、適正な職務遂行に必要な能力水準</li> <li>第一線で率先垂範し、職務を遂行するために必要な能力水準</li> <li>チームの一員として任せられた仕事を責任を持って遂行するために必要な能力水準</li> </ul>
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>定型的または基本的な仕事を遂行するために必要な能力水準</li> <li>部分的に指導を受けることもあるが、定められた手順に従って行う仕事を遂行するために必要な能力水準</li> <li>作業チームの一員として指示を受け、ある程度任された仕事を遂行するために必要な能力水準</li> <li>作業指示または指導管理下で行う仕事を遂行するために必要な能力水準</li> <li>仕事を覚えていくための基礎的な仕事を遂行するために必要な能力水準</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定型的または基本的な仕事を遂行するために必要な能力水準</li> <li>部分的に指導を受けながら、定められた手順に従って仕事を遂行するために必要な能力水準</li> <li>仕事を覚えていくための基礎的な仕事を遂行するために必要な能力水準</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定型的または基本的な仕事を遂行するために必要な能力水準</li> <li>チームの一員として指示を受け、ある程度任された仕事を遂行するために必要な能力水準</li> <li>指示または指導管理下で行う仕事を遂行するために必要な能力水準</li> <li>仕事を覚えていくための基礎的な仕事を遂行するために必要な能力水準</li> </ul>

## プラントメンテナンス業におけるキャリア形成の例



注1) 保全実務職種から保全技術職種へのキャリアルートは、保全管理職務から技術職務及び安全・品質職務の両方のキャリアルートがあるので点線で囲んでいる。

注2) 上記はプラントメンテナンス業における基本的なキャリアルートの例であり、企業によって多様な呼称が付けられている。